

令和7年度 目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組No.
総合水沢病院	1

今 年 度 の 重 点 取 組 項 目 等	基本理念	市民の健康を支える面倒見のいい病院	
	①重点取組項目	人員の維持・確保及び地域の救急医療機関としての役割の維持	
	②具体的目標	①常勤医師、看護師等スタッフ確保の促進 • 常勤医師 1名以上の確保 • 採用後 1年以内の離職率10%以下を目指す ②地域の救急医療機関としての役割の維持・継続 • 救急車受入れ 700 件/年以上	
	③課題	診療体制を維持継続するため、人的資源（医師、看護師、医療技術員）の不足を解消することが喫緊の課題。常勤医師の減少によりバックアップ体制のない日が増えている。診療科毎で受入れ体制にはらつきがある。	
	④行動計画	内 容	時 期
		①常勤医師、看護師等スタッフ確保の促進 • 関係大学等へ計画的に訪問し面談を行う（延10人/年） • 新規採用職員の定着率を高めるため、所属先と事務局との連携によりフォローする。 ②地域の救急医療機関としての役割の維持・継続 • 平日日中の不応需をなくすよう、受入れルールの再構築を図る。 • 不応需理由を明確に記録し検証・分析を行い、合理的でない理由による不応需をなくす。	通年
			通年
			4月
	⑤特記事項		
中 間 報 告	⑥活動実績	• 関連大学(東北大、岩手医大、東北医科薬科大)へ計画的に訪問し医師派遣を要請した。（計8回訪問） • 今年度採用者 9名のうち、9月末時点での退職者 0名 • 救急車受入れ 468件/上半期	
	⑦目標達成状況	⑤・4・3・2・1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）
	⑧達成又は非達成の要因	医師確保については、単年度の取組ではなく、複数年に渡り様々な情報にアンテナを張り、機会を逸しないよう取り組んだ結果と考える。また、医師数減にもかかわらず、救急車受入れが目標を達成しているのは、年度当初の院長面談や診療部会等で、当院の役割の周知を徹底したことによるものと考える。	
	⑨特記事項	令和7年10月1日内科医着任	
期 末 報 告	⑩活動実績		
	⑪目標達成状況	5・4・3・2・1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）
	⑫達成又は非達成の要因		
	⑬特記事項		

令和7年度 目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組No.
総合水沢病院	2

今 年 度 の 重 点 取 組 項 目	基本理念	市民の健康を支える面倒見のいい病院	
	①重点取組項目	リハビリテーションの拡大、効果的な体制の検討・実施	
	②具体的目標	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の地域包括ケア病床のリハビリ対象者への提供平均単位数2.0以上は維持し、一般リハに関しても単位数増を目指す。全体としては、昨年度の1.2倍以上の単位数増を目指す。 円滑な退院に向けた支援や退院後のフォローのため多職種と連携する。 S T (※1) の院内普及。 	
	③課題	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に比べ、リハビリ対象者数が増加しており、入院患者に偏りなく介入することが困難になると予想される。 地域包括ケア病床や一般リハの安定的な単位数確保のため、リハビリスタッフの人員増等の検討が必要。 	
	④行動計画	内 容	時 期
		<ul style="list-style-type: none"> リハビリスタッフ間の連携により、1患者あたり午前午後の1日2回の介入を基本とする。 土祝日当番制の導入を実施、単位数の動向や必要なスタッフの人員等について検討する。 ケア会議でのリハビリ説明を行い、退院時リハビリテーション指導料の算定や退院前訪問指導に関わる機会を増やしていく。 S T介入が必要な患者に関し、情報共有(カンファレンス等)を積極的に行う。 	通年
			通年
			随時
	⑤特記事項		
中 間 報 告	⑥活動実績	包括ケア病床のリハ対象者への提供平均単位数2.0以上は達成。単位ベースでの前年度比は、包括23.4%増、一般70.3%増となり、昨年度の1.2倍以上の単位数増も達成。S Tの院内普及も行っており、多職種とも積極的に連携している。退院時リハビリテーション指導料の算定は65件となり、昨年より26件増となった。	
	⑦目標達成状況	⑤・4・3・2・1	※ 5段階評価 (5:できている ⇄ 1:できていない)
	⑧達成又は非達成の要因	土祝日当番制を導入することで、包括病床の単位数確保は安定した。また、必要とする患者に対し、可能な限り午前午後の1日2回のリハビリ介入を行うようにしている。	
	⑨特記事項	「患者サービスをさらに充実させるため」や「施設基準を上げ、収益増を図るために」、当院に不在のO T (※2) が必要不可欠である。	
期 末 報 告	⑩活動実績		
	⑪目標達成状況	5・4・3・2・1	※ 5段階評価 (5:できている ⇄ 1:できていない)
	⑫達成又は非達成の要因		
	⑬特記事項		

※1 S T = 言語聴覚士

※2 O T = 作業療法士

令和7年度 目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組No.
まごころ病院	1

今 年 度 の 重 点 取 組 項 目 等	基本理念	患者さんの、心の痛みを知る感受性と、患者さんの、身体の痛みをやわらげる医療技術とを。そして、共に、癒し癒されんことを	
	①重点取組項目	外来患者数の増加	
	②具体的目標	外来患者数を、令和6年度実績の約5%増となる40,500人とする。	
	③課題	社会的動向に加えて純農村地域である胆沢地域の人口減少は、国の動向より著しく、又、多数の医療機関を有する水沢地域に隣接する立地において、当院に目を向け、足を運んでいただく困難さがある。	
	④行動計画	内 容	時 期
		・高齢者に多い泌尿器症状の訴えに対応するため専門医診療を提供する。	通年
		・施設との情報交換会を開催し連携強化を図る。	通年
		・出前講座を実施し、病院のPRを行う。	四半期に1回
		・歯科夜間診療実施により通常診療時の職員配置に不足が生じるため、夜間診療を中止することにより通常診療時間の受入患者を増やす。 目標患者数 6年度9,300人→10,000人(+7%)	通年
		・内科の夜間診療を周知する。(HP、院内モニター、出前講座)	8月から周知開始
	⑤特記事項		
中 間 報 告	⑥活動実績	・4月より、月2~3回、午後の診療時間に泌尿器科の外来を設け、1回13人ほどの患者を診療している。 ・病院の近隣の地域に出向き出前講座を行った。 ・7月に8つの施設との情報交換会を開催した。 ・院内に設置してあるモニターに表示するなどし、夜間診療の周知に努めた。 ・歯科口腔外科については夜間診療の翌日にスタッフが不足することから、日中の診療に注力できるよう7月から夜間診療を停止した。 ・行動計画は実行できているものの、昨年同期に9,218人であった外来患者数は、今年は8,817人(5.7%減)であり、増加に結びついていない。	
	⑦目標達成状況	5・4・③・2・1	※ 5段階評価(5:できている ⇄ 1:できていない)
	⑧達成又は非達成の要因	外部への働きかけが、まだ不足している。	
	⑨特記事項		
期 末 報 告	⑩活動実績		
	⑪目標達成状況	5・4・3・2・1	※ 5段階評価(5:できている ⇄ 1:できていない)
	⑫達成又は非達成の要因		
	⑬特記事項		

令和7年度 目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組No.
まごころ病院	2

基本理念	患者さんの、心の痛みを知る感受性と、患者さんの、身体の痛みをやわらげる医療技術とを。そして、共に、癒し癒されんことを。					
今年度の重 点取組項目等	①重点取組項目	適時に適切な医療を提供することで適正な診療報酬を得る				
	②具体的目標	質の高い医療を実践することで、患者1人1日当たり診療収入の増加を図る。 ・外来は、令和6年度実績額(8,654円)に対して10%増の9,500円 ・入院は、令和6年度実績額(32,474円)に対し5%増の34,000円				
	③課題	・医師・スタッフの診療報酬に対する理解不足。 ・定期検査の患者への提案が消極的で習慣化していない。				
	④行動計画	内 容	時 期			
		・同規模医療機関での加算取得内容を確認し、可能なものは極力取得する。 ・対象者への特別食の提供を適正に実施する。 ・フォローアップ検査の適正実施。(外来・在宅) ・慢性疾患患者への栄養指導を積極的に行う。	通年 通年 通年 通年			
⑤特記事項						
中間報告	⑥活動実績	・今年度は新たな加算の取得ができていない。 ・管理栄養士と病棟看護師が連携して特別食の対象者を掌握し、医師に情報提供して確実に提供ができている。 ・フォローアップ検査はほとんど増えていない。 ・外来患者に対して継続して栄養指導が行われるよう、管理栄養士から医師への働きかけを行っている。 ・昨年同時期と比べ、入院・外来とも単価は微増した。				
	⑦目標達成状況	5・4・③・2・1	※ 5段階評価 (5:できている ⇄ 1:できていない)			
	⑧達成又は非達成の要因	医療の質を上げようとする職員の意識が不足している。				
	⑨特記事項					
期末報告	⑩活動実績					
	⑪目標達成状況	5・4・3・2・1	※ 5段階評価 (5:できている ⇄ 1:できていない)			
	⑫達成又は非達成の要因					
	⑬特記事項					

令和7年度 目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組No.
前沢診療所	1

基本理念		思いやりの心をもち 心身を両面からみる頼れるかかりつけの診療所	
今 年 度 の 重 点 取 組 項 目 等	①重点取組項目	健診の啓発と受診者数の向上	
	②具体的目標	健診受診者数の増加。前年比+7% (R6:454人→486人(+32人)) ※令和6年度に健診実施枠を拡充し体制を整えた。 6~12月の住民健診時期の余裕数(枠504-R6実績445=59)の半数増をめざす。	
	③課題	「自称：健康」で通院等をされていない方への受診勧奨機会の確保が難しい。	
	④行動計画	内 容	時 期
		・通院患者、患者の付き添いの方への受診勧奨。 ・施設内における周知啓発。 ・「出前講座」、「集団栄養指導」、「健康フェスタ」等の診療以外の場面を活用した意識啓発。 ・市の保健活動部門との連携。	6~12月 " " " " "
中 間 報 告	⑤特記事項		
	⑥活動実績	各種健診の受診者合計を前年比較すると317人→268人となり、49人・15%の減となった。通院患者やその家族等への勧奨、集団栄養指導の口頭による周知啓発に加え、9月に開催したまえさわ健康フェスタでも健診の重要性を伝えており、9月以降は前年比較で回復傾向が見られる。	
	⑦目標達成状況	5・4・3・②・1	※ 5段階評価 (5:できている ⇔ 1:できていない)
	⑧達成又は非達成の要因	周知啓発活動が不足していたこと。	
	⑨特記事項	今後も継続的な周知啓発活動により受診者の増加を図る。 一方で、外来患者数が前年より増加している実態もある。	
期 末 報 告	⑩活動実績		
	⑪目標達成状況	5・4・3・2・1	※ 5段階評価 (5:できている ⇔ 1:できていない)
	⑫達成又は非達成の要因		
	⑬特記事項		

令和7年度 目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組No.
前沢診療所	2

基本理念		思いやりの心をもち 心身を両面からみる頼れるかかりつけの診療所	
今 年 度 の 重 点 取 組 項 目 等	①重点取組項目	心療内科の専門性を活かした医療提供	
	②具体的目標	<ul style="list-style-type: none"> 職員が心療内科の本質を理解し心身医療を診療に活かすスキルを習熟する。 患者に寄り添う心身医療を通して全人的医療を患者・家族に提供する。 	
	③課題	通常診療体制の中で全スタッフがスキルアップに向けた時間を確保すること。	
	④行動計画	内 容	時 期
		所長をはじめとする心療内科専門スタッフによる学習会を隔月開催し、診療所内における心療内科のスキル向上を図る。	6～3月
⑤特記事項			
中 間 報 告	⑥活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 上半期は診療所内での学習会の開催に至らなかった。 朝礼時に所長から心療内科に関する情報提供があった。 On the Job Training によるスキルアップ効果は得られている。 	
	⑦目標達成状況	5・4・3・2・①	※ 5段階評価 (5:できている ⇔ 1:できていない)
	⑧達成又は非達成の要因	多忙を理由に学習会の企画に至らなかったこと。	
	⑨特記事項	当初目標を再認識し、下半期で活動実践に取り組む。	
期 末 報 告	⑩活動実績		
	⑪目標達成状況	5・4・3・2・1	※ 5段階評価 (5:できている ⇔ 1:できていない)
	⑫達成又は非達成の要因		
	⑬特記事項		

令和7年度 目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組No.
衣川診療所	1

基本理念		思いやりの心を常に持ち信頼される地域医療をめざします	
今年度の重点取組項目等	①重点取組項目	べき地診療所としての医療提供体制の確保	
	②具体的目標	将来的な患者数を見据えた、適正な職員体制を確立する。	
	③課題	常勤医師1名体制であることから、常勤医師の負担軽減を図りつつ、医療提供体制の確保が課題。	
	④行動計画	内 容	時 期
		・令和4～6年度の職員体制と患者数をベースに、9月末までに必要な各職種の職員体制を検討する。 ・令和8年度からの適正な職員体制を確立する。	9月末 3月
⑤特記事項			
中間報告	⑥活動実績	常勤医師1名体制が続いているが、常勤医師の負担が増している状況ではあるが、非常勤医師の応援により、医療提供体制を維持している。入院患者数、外来患者数が共に減少（4月～9月 入院：R6年度対比22.7%減、外来：R6年度対比13.3%減）している。一方で、オンライン診療については増加（4月～9月 R6年度対比75.0%増）している。	
	⑦目標達成状況	5・4・3・2・1	※ 5段階評価（5:できている ⇔ 1:できていない）
	⑧達成又は非達成の要因	<ul style="list-style-type: none"> 常勤医師1人体制になっていることもあり、1週間当たり診療コマ数が16コマに減少しているため。 オンライン診療の増加については、定期受診患者への働きかけを行ったため。 	
	⑨特記事項	常勤医師1名の体制が今後も続くと予想される状況ではあるが、非常勤医師の応援を得つつ、べき地診療所として持続可能な医療提供体制を確保する。	
期末報告	⑩活動実績		
	⑪目標達成状況	5・4・3・2・1	※ 5段階評価（5:できている ⇔ 1:できていない）
	⑫達成又は非達成の要因		
	⑬特記事項		

令和7年度 目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組No.
衣川診療所	2

基本理念		思いやりの心を常に持ち信頼される地域医療をめざします	
今 年 度 の 重 点 取 組 項 目 等	①重点取組項目	モバイルを活用した遠隔診療の実施	
	②具体的目標	<ul style="list-style-type: none"> 年度内を目指して、院外処方による薬剤輸送方式を確立する。 健診事業への活用を検討・実施。 	
	③課題	常勤医師1名体制であることから、常勤医師の負担軽減を図りつつ、医療提供体制の確保が課題。	
	④行動計画	内 容	時 期
		<ul style="list-style-type: none"> 院外処方による薬剤輸送方式の確立（協力薬局一覧の作成） 上記について関係機関（薬剤師会、薬局、市健康増進課）と連携及び協議。 健診事業への活用を検討。 イベント会場での長寿健診の実施。 	3月末 随時 9月末 10月以降
中 間 報 告	⑤特記事項	遠隔診療は、毎週火曜日の午後、及び隔週金曜日の午後に実施。	
	⑥活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 院外処方に係る協力薬局一覧の作成については、年度末までに作成予定。 院内処方については、遠隔診療終了後にオンライン服薬指導を行うことで実施予定。薬剤の郵送を検討中。 健診事業への活用については、健康増進課から厚労省との調整に時間を要するとのことで、その旨了承した。あわせて、触診の代替手段、エコー実施に伴う人材育成、浮腫の診察方法、聴診・心音の評価に関する課題、視診（貧血・黄疸等）等に対する対処方法についても、引く続き検討していく。 	
	⑦目標達成状況	5・4・3・2・1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）
	⑧達成又は非達成の要因	<ul style="list-style-type: none"> 院外処方、院内処方については、協議がスムーズに進んでいるため。 健診に係る分については、厚労省との調整に想像以上に時間を要するため。また、技術的な課題も多いため。 	
	⑨特記事項	遠隔診療終了後にオンライン服薬指導を行う予定	
期 末 報 告	⑩活動実績		
	⑪目標達成状況	5・4・3・2・1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）
	⑫達成又は非達成の要因		
	⑬特記事項		

令和7年度 目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組No.
衣川歯科診療所	1

基本理念		衣川地域唯一の歯科診療所として、地域住民の口の健康を守り、健康増進に寄与する	
今 年 度 の 重 点 取 組 項 目 等	①重点取組項目	へき地診療所としての医療提供体制の確保	
	②具体的目標	通院困難な患者の増加を見据え、適正な訪問歯科診療の実施体制を確立する。	
	③課題	通常の歯科診療と訪問歯科診療の実施体制の両立が課題。	
	④行動計画	内 容	時 期
中 間 報 告		・訪問歯科診療の実施体制について、7年度上期（9月末）を 目途に、新たな職員体制を検討する。	9月末
		・令和8年度からの適正な職員体制を確立する。	3月
	⑤特記事項		
	⑥活動実績	5月から会計年度任用職員の歯科衛生士1名が育児休業から復職し、診療体制の 充実を図れていることで、計画的な予約調整や急患対応が可能となっている。外 来患者数は微減（4月～9月 R6年度対比4.3%減）の状況ではあるが、訪問歯 科診療は大幅に増加（4月～9月 R6年度2件、R7年度29件）している。	
期 末 報 告	⑦目標達成状況	5・4・3・2・1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）
	⑧達成又は非達 成の要因	適正な職員体制により診療所が運営できているため。	
	⑨特記事項	現在の医療スタッフ体制を基本とし、へき地診療所として持続可能な医療提供体 制を確保する。	
	⑩活動実績		
	⑪目標達成状況	5・4・3・2・1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）
	⑫達成又は非達 成の要因		
	⑬特記事項		

令和7年度 目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組No.
衣川歯科診療所	2

基本理念		衣川地域唯一の歯科診療所として、地域住民の口の健康を守り、健康増進に寄与する	
今 年 度 の 重 点 取 組 項 目 等	①重点取組項目	患者数の減少抑制対策	
	②具体的目標	令和4年度から令和6年度の年間外来患者数の減少率が1.0%であったことから、減少率1.0%以下を目指す。	
	③課題		
	④行動計画	内 容	時 期
		<ul style="list-style-type: none"> 口腔ケアについての普及啓発を図るため、衣川地域内の出前健康講座を活用し、情報発信を行う。 口腔ケアについての普及啓発を図るため、衣川地域内の筋力プラスワン講座において、情報は発信を行う。 認定こども園（あゆみ園）の保護者あてに歯科だよりを1回/月発行し、歯に関する情報提供を行う。 	随時 10～12月 毎月
⑤特記事項			
中 間 報 告	⑥活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 隣接する高齢者施設において、市が主催する家族介護教室において講話をを行い、口腔ケアの普及啓発を行った。（7月） 認定こども園の保護者あてに歯科だよりを1回/月発行し、歯に関する情報提供を行っている。また、6月には歯科衛生士2名が園児への歯科保健指導（子ども向けお口の健康体操等）を行った。 隣接する高齢者施設の職員を対象に、口腔ケアの方法に係る勉強会を、これまでに4回開催した。また、歯科衛生士による口腔ケアの実技指導を定期的に開催している。5月から9月まで、延べ10回開催。 歯科医師の指示・計画のもとで歯科衛生士のみの訪問口腔ケアを実施している。これまで述べ28回実施した。（毎月随時） 	
	⑦目標達成状況	5・4・3・2・1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）
	⑧達成又は非達成の要因	地域との連携を図りながら、口腔ケアの普及啓発に意欲をもって取り組んでいるため。	
	⑨特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 11月から衣川地域4地区において開催するフレイル予防教室「お達者プラス」において、口腔ケアに関する講話を予定している。 衣川地域内の2つの小学校において、歯科指導（授業）の実施を予定している。（11月、12月） 隣接する高齢者施設の職員を対象にした歯科衛生士による口腔ケアの実技指導については、今後も月1回の開催を予定している。 歯科衛生士のみの訪問口腔ケアは、今後も随時実施予定 	
	期末報告	⑩活動実績	
	⑪目標達成状況	5・4・3・2・1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）
	⑫達成又は非達成の要因		
	⑬特記事項		